

頑張る

農業法人

少子・高齢化が進む京丹後市丹後町岩木地区では、集落営農組織「岩木営農組合」と農業生産法人「(株)丹後岩木ファーム」が両輪となって地域農業を担っている。

同社では、特別栽培米やみず菜の生産・販売、特別栽培米を使用した焼酎の販売の他、同営農組合から受託したソバの契約栽培を行う。また、新規就農希望者を研修生として受け入れ、その後社員として雇用するなど、地域を元気にする活動を展開する。

同地区は同市北部の日本海に近い約60世帯の農村。農家は25戸で約30分の農地が広がる。

高齢化が進む中、農地集積や農業機械の共同利用を促進するため、19

99年に23戸で岩木営農組合を結成した。

全員がエコファーマー認定を受け、減農薬・有機質肥料で「特A米」丹後コシヒカリや、ソバの農作業受託、みず菜のハウス栽培に取り組んできた。

その後、利用権設定による農地集積と、補助事業を活用した若い担い手育成を進めるため、法人化の検討を開始。導入していた補助事業の課題などから同営農組合を存続する一方で、担い手としての法人を設立することとなり、2008年に当時の組合員21人のうち18人が株主となって同社を立ち上げた。

役員は代表取締役会長の芳賀時太郎さん(68)、代表取締役社長の岡田美晴さん(51)、専務の吉

京丹後市

(株)丹後岩木ファーム

特別栽培米で醸造した焼酎を手にする岡田さん



水稲とみず菜が主力

岡脩さん(73)の3人。研修後に雇用された社員3人、パートタイマー9人で経営に取り組む。

同社の経営は、12分の水稲(うち7分は特別栽培米)と、ハウス39棟の

みず菜が経営の主力。水稲は同営農組合がJ A京丹後町岩木924。電話0772(75)1745。

特別栽培米で焼酎 人気上々

して栽培する。みず菜は周年生産を行い、J Aなどに毎日出荷する。また、同営農組合の委託でソバの契約栽培を3・5分行う。近隣小学校の児童を対象に、栽培実習にも取り組んでいる。

さらに、同社が生産した特別栽培米で米焼酎「丹後いわきしろやま」を酒造会社で醸造してもらい販売する。すつきりと澄んだ味わいで人気は上々。今年度には酒類卸売業免許を取得して、販路拡大を目指す。

社長の岡田さんは「米に続いて、みず菜の生産・販売も安定できるように取り組んでいきたい。若者3人を『農の雇用事業』を活用して雇用することができた。営農組合と会社と一緒にあって、地域活性化が図れるよう頑張っていきたい」と話す。▽法人所在地 京丹後市丹後町岩木924。電話0772(75)1745。